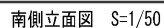
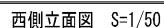


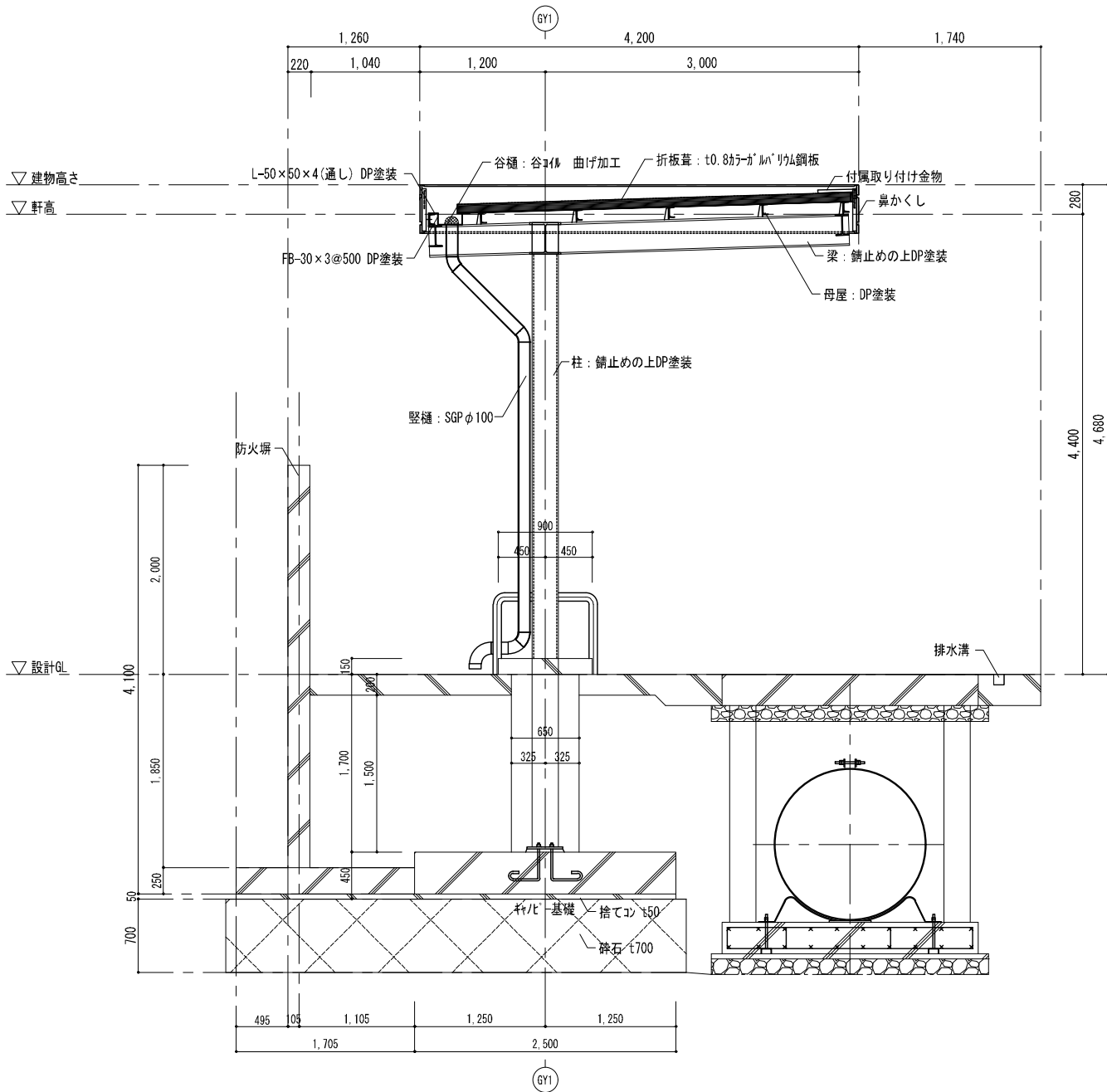
天井伏図 S=1/100

屋根伏図 S=1/100

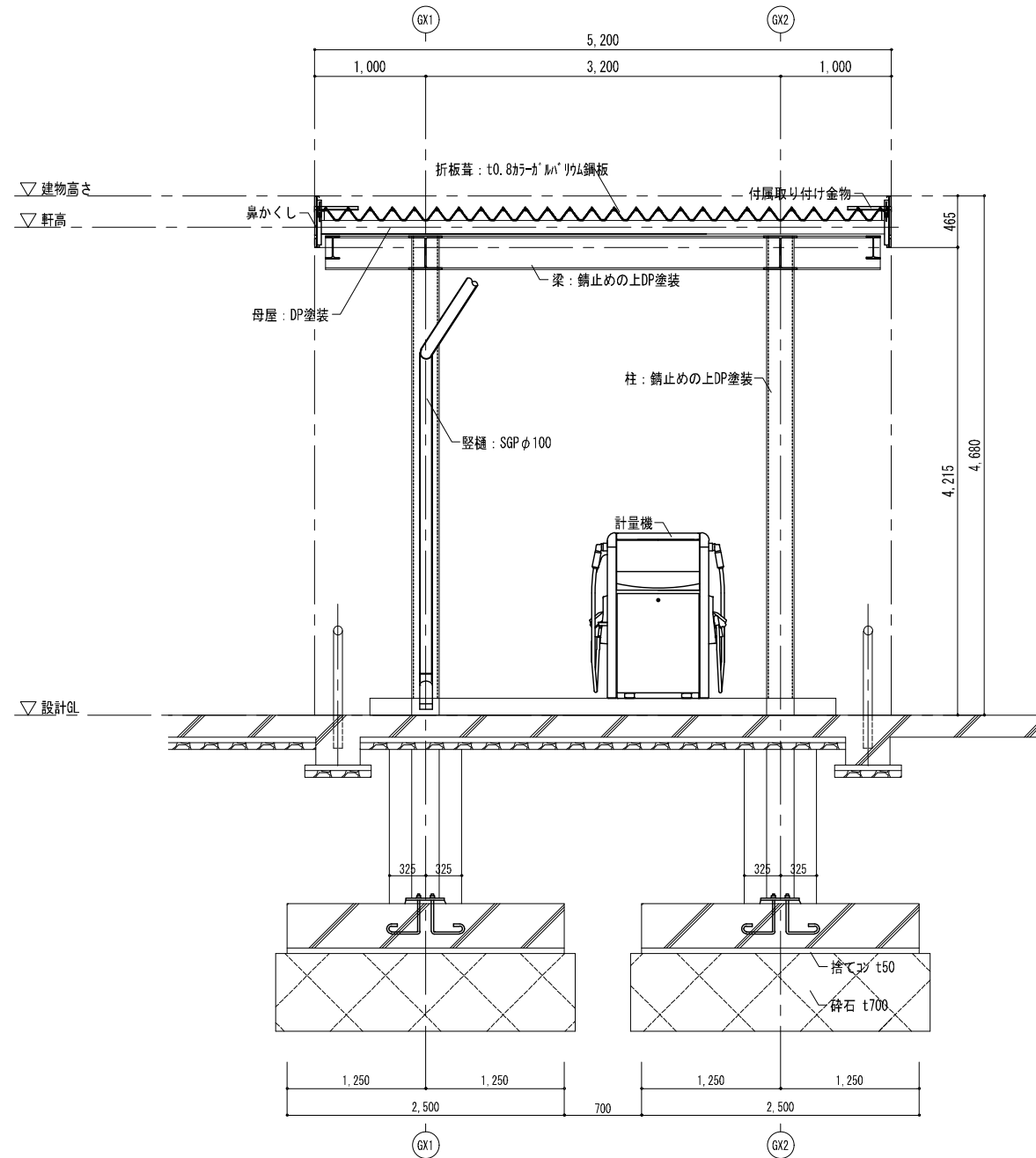
建築面積：3,200×2,200=7.04m²

建築面積 $S=1/100$

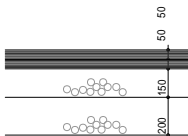
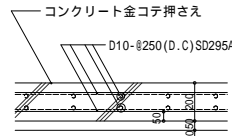
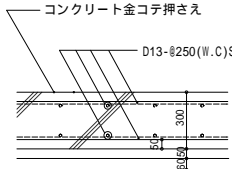
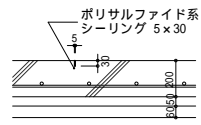
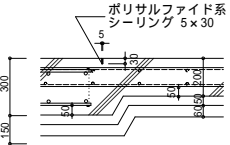
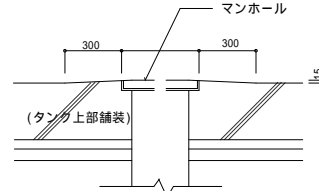
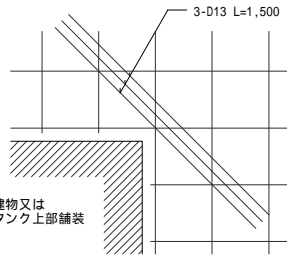
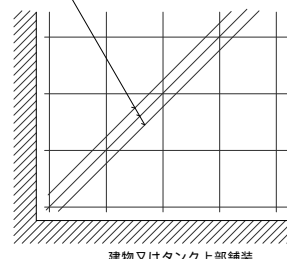
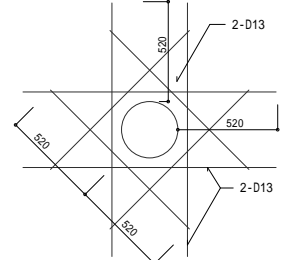
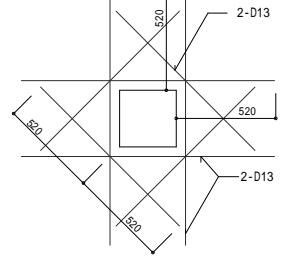
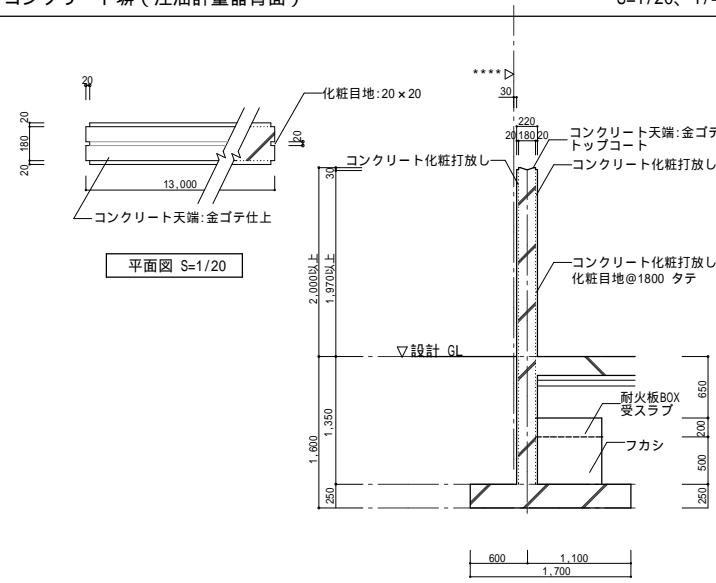
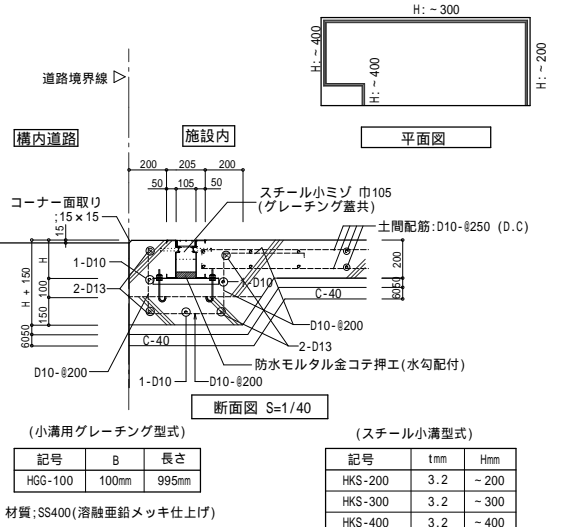
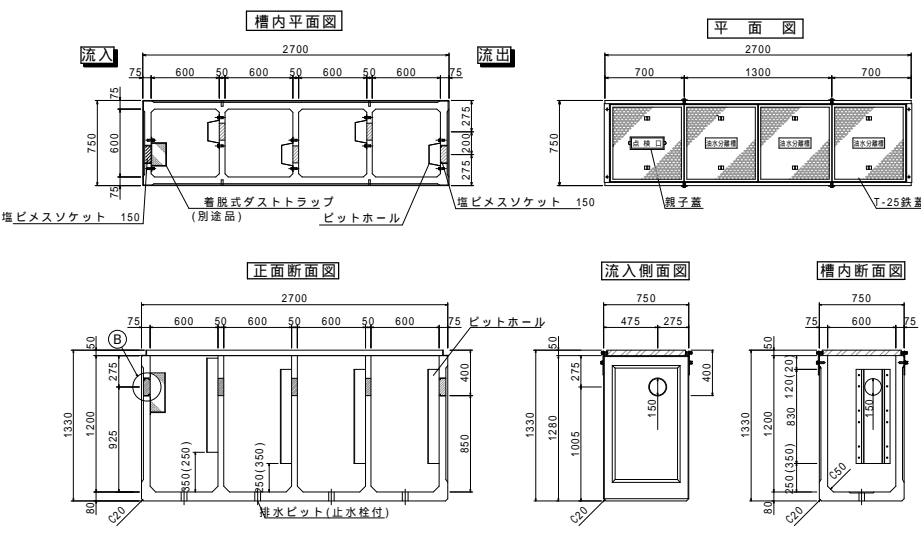
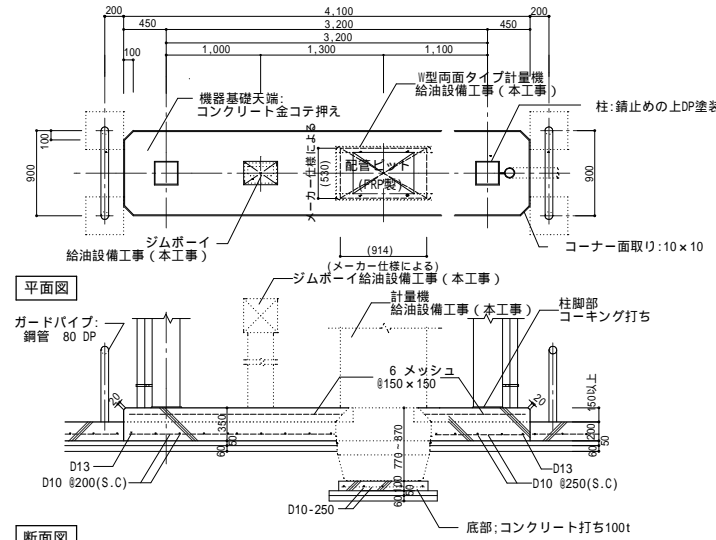
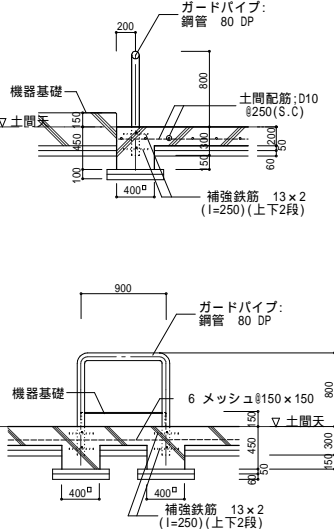
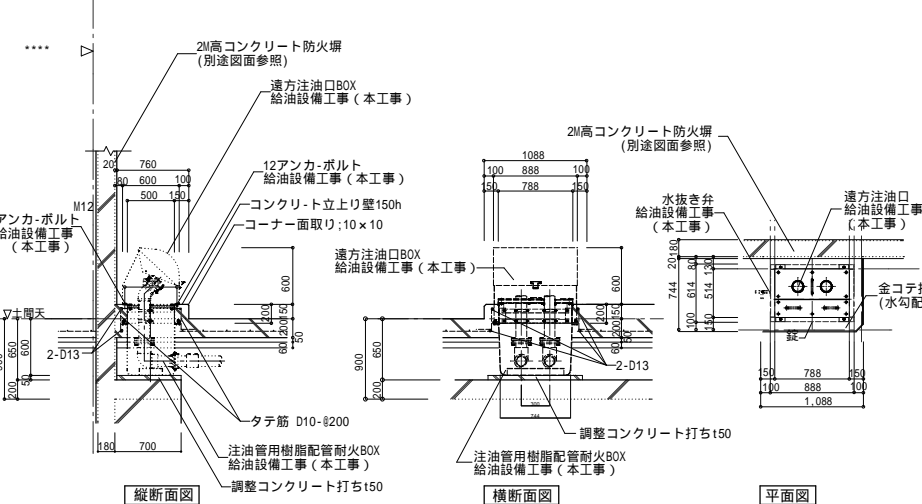
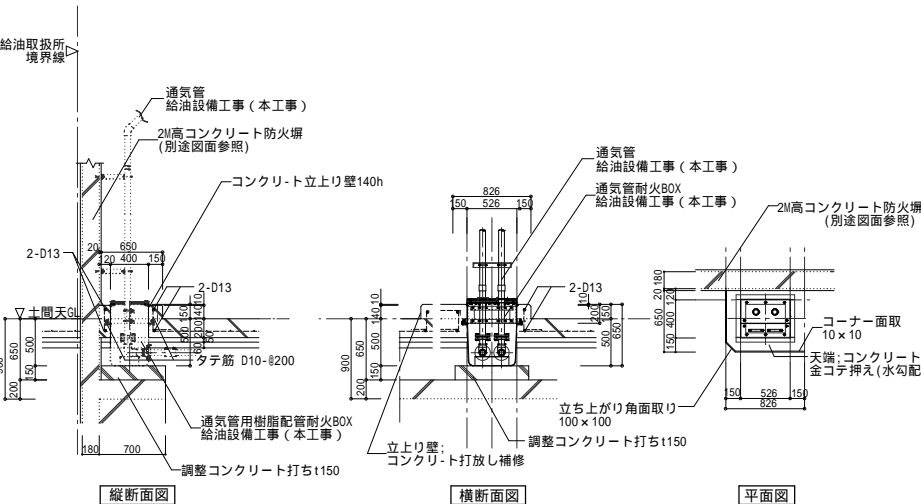
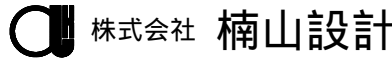
延床面積：5,200×4,200=21.84㎡延床面積 $S=1/100$ 



A断面詳細図 S=1/30

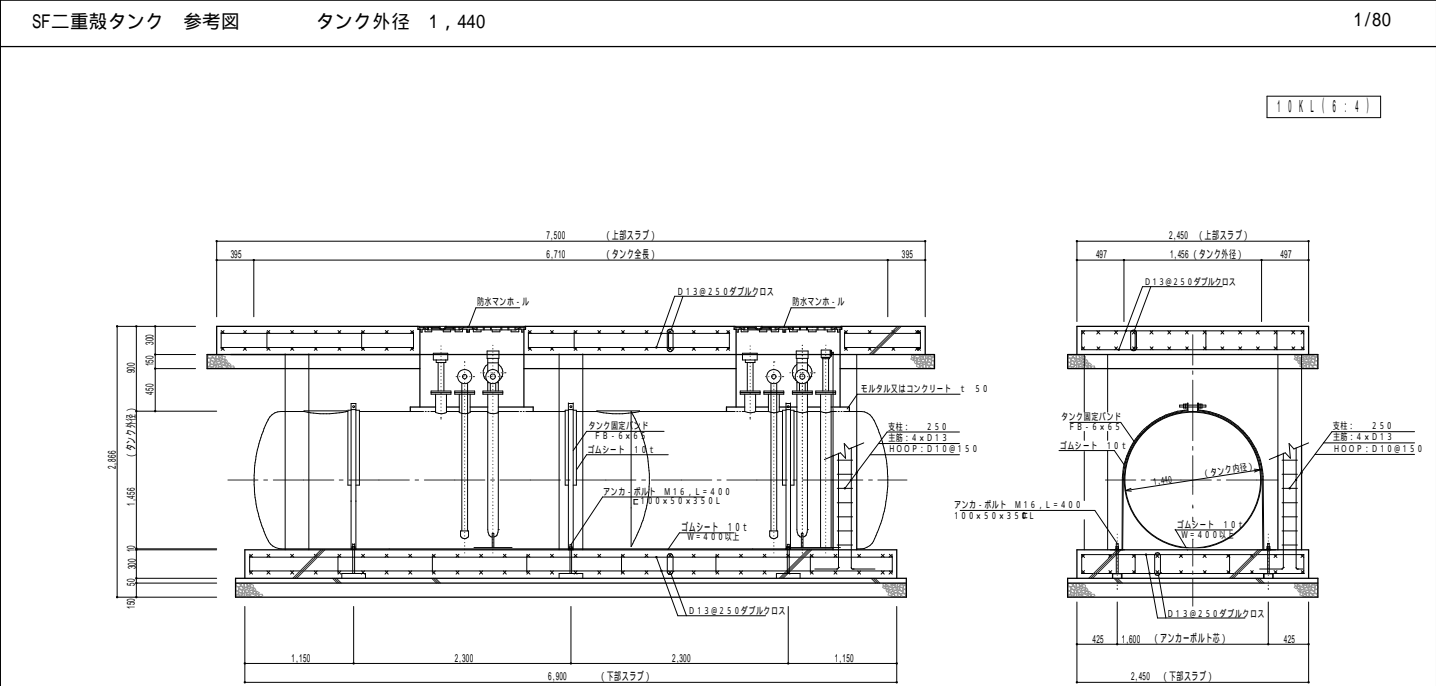
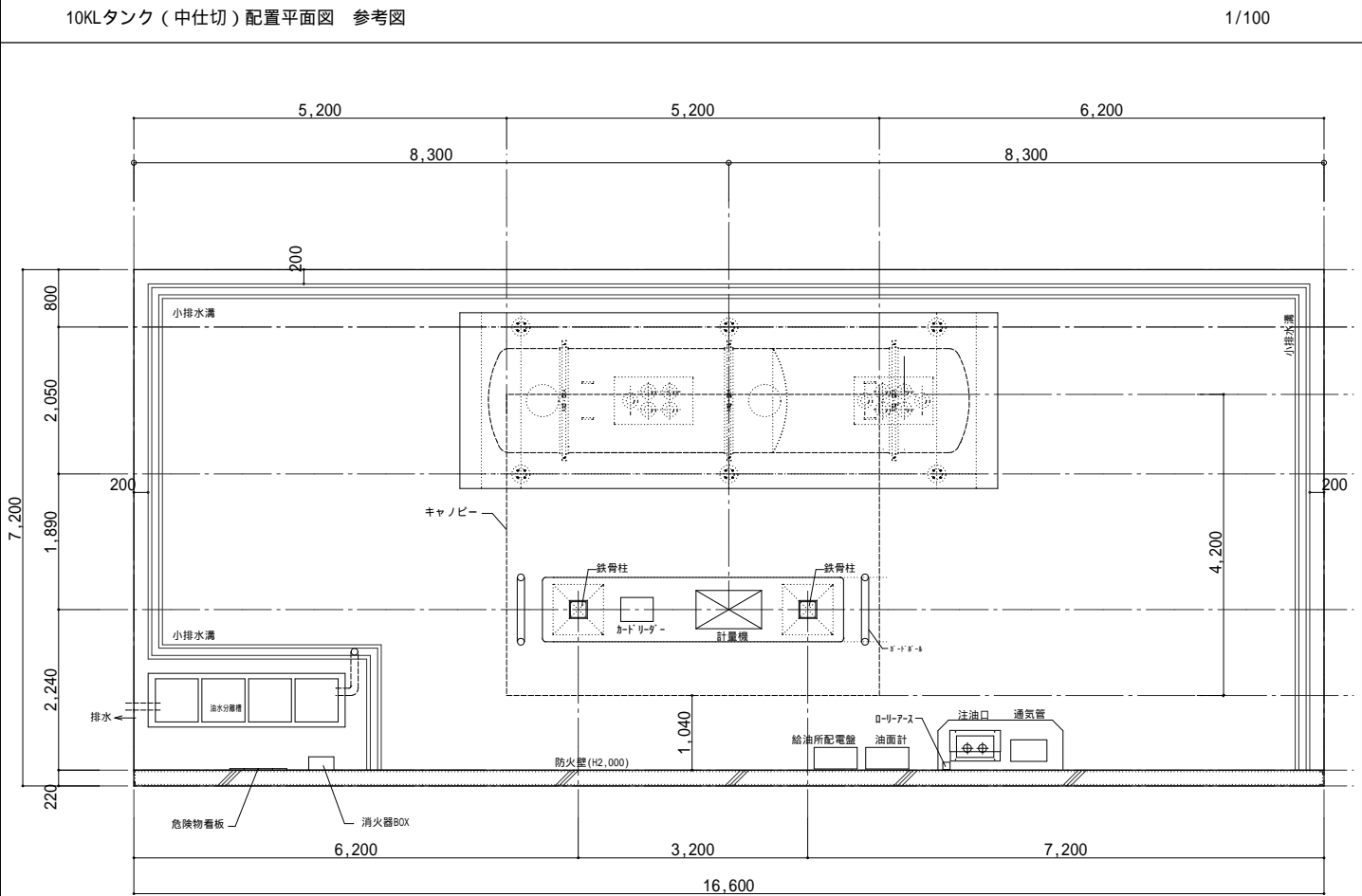


B断面詳細図 S=1/30

特記事項	共通事項:コンクリートスラブは、12cm以下とする。 路盤:砕石路盤は、1.6ton以上の能力を持つローラーにより充分に転圧を行い所要の支持力が得られるまで締め固める 路盤下部の各種配管を破壊せぬように充分留意すること。 破壊の場合は速やかに完全補修を行うこと。 舗装勾配:上図の舗装勾配原則図及び設計図書を参考に勾配施工図を作製し、係員の承認を得ること。 (参考) 給油所内の土間勾配は 1/70 ～1/75 程度	アスファルト舗装周辺(構内通路) S=1/20	給油施設内一般土間舗装 S=1/20	タンク上部舗装 S=1/20	目 地 S=1/20	マンホール廻り詳細図 S=1/20	土間開口補強	マンホール等(開口部500角以上のもの)																	
	 <p>表 層: 密粒度アスファルト混合物 t=5cm 表 層: 粗粒度アスファルト混合物 t=5cm 上層路盤: 粒度調整砕石 t=15cm 下層路盤: 再生クラッシャーラン(RC-40) t=20cm</p>	 <p>鉄 筋 ;D10-φ250(タテ、ヨコ共)SD295A コンクリート ;FC=21Nf/mm2 路 盤 ;クラッシャーラン(C-40) 仕 上 げ ;コンクリート金コテ押さえ</p> <p>給油施設範囲の舗装は、周辺舗装の天端より高くし給油施設外から雨水が集水小溝に流入しないように仕上げること。</p>	 <p>鉄 筋 ;D10-φ250(タテ、ヨコ共)SD295A コンクリート ;FC=21Nf/mm2 路 盤 ;クラッシャーラン(C-40) 仕 上 げ ;コンクリート金コテ押さえ</p>	(一般カッター目地)  (タンク上部舗装/一般土間舗装)  <p>目地深さは40mmとする 目地は構造物等を配慮した上で格子状に入れる 目地区画は30㎡を標準とし、一辺の長さは最大6.0mとする</p>	マンホール廻り詳細図  <p>ドライブウェイマンホール等は舗装天端より15mm高くし、雨水等の流入しないように仕上げること。</p>	(入隅部)  <p>建物又はタンク上部舗装</p> <p>(出部隅) <p>建物又はタンク上部舗装</p></p>	(丸 型)  <p>(角 型) </p>																		
コンクリート塀(注油計量器背面) S=1/20、1/40		集水小溝 S=1/20		油水分離槽(コンクリート既製品・600角) (参考図)																					
 <p>平面図 S=1/20</p> <p>断面図 S=1/40</p> <p>耐火BOX受けスラブは、注油口耐火BOX・通気管耐火BOXの下部のみ設置する。 遠方注油口耐火BOX・通気管耐火BOX下部の耐火壁基礎形状は、各BOX詳細図による。</p>		 <p>平面図</p> <p>断面図 S=1/40</p> <p>(小溝用グレーチング型式)</p> <table><tr><th>記号</th><th>B</th><th>長さ</th></tr><tr><td>HGG-100</td><td>100mm</td><td>995mm</td></tr></table> <p>材質;SS400(溶融亜鉛メッキ仕上げ)</p> <p>(スチール小溝型式)</p> <table><tr><th>記号</th><th>tmm</th><th>Hmm</th></tr><tr><td>HKS-200</td><td>3.2</td><td>~200</td></tr><tr><td>HKS-300</td><td>3.2</td><td>~300</td></tr><tr><td>HKS-400</td><td>3.2</td><td>~400</td></tr></table> <p>小溝役物RT、ベースアンカー共 材質;SS400(溶融亜鉛メッキ仕上げ)</p>		記号	B	長さ	HGG-100	100mm	995mm	記号	tmm	Hmm	HKS-200	3.2	~200	HKS-300	3.2	~300	HKS-400	3.2	~400	 <p>槽内平面図</p> <p>平面図</p> <p>流入側面図</p> <p>槽内断面図</p> <p>親子鉄蓋箱 FCD500</p> <p>T-25鉄蓋箱 FCD500</p> <p>油水分離槽標準能力換算(消防用)</p> <p>槽目:0.6'0.6'1.2=0.432 ~ 槽目:0.6'0.6'1.2'3=1.296 合計:0.432+(0.432'3)=1.728㎡=1.728㎡ > 500㎡() となり、本油水分離槽は有効である。 危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示 第4条の51 による (昭和49年5月1日 自治省(総務省)告示第99号)</p> <p>A部詳細図 (高さ調整プレート t=6) S=1/10</p> <p>ビットホール取付詳細図 S=1/10</p> <p>B部詳細図(埋込み部) S=1/10</p> <p>排水ビット(止水栓)詳細図 S=1/10</p>			
記号	B	長さ																							
HGG-100	100mm	995mm																							
記号	tmm	Hmm																							
HKS-200	3.2	~200																							
HKS-300	3.2	~300																							
HKS-400	3.2	~400																							
機器基礎 S=1/40		ガードパイプ S=1/40	注油口耐火BOX詳細図 S=1/40			通気管耐火BOX詳細図 S=1/40																			
(注記)計量機用配管ビットの材料・据付は給油設備工事(本工事)とする。  <p>平面図</p> <p>断面図</p>		 <p>縦断面図</p> <p>横断面図</p> <p>平面図</p>	 <p>縦断面図</p> <p>横断面図</p> <p>平面図</p>			<p>注記;()は給油設備工事(本工事)とする。 <p>縦断面図</p><p>横断面図</p><p>平面図</p></p>																			
一級建築士事務所 東京都登録第4539号  東京都千代田区神田小川町三丁目20番地		意匠設計 一級建築士登録第 301497 号 高橋 徹	構造設計 一級建築士登録第 271669 号 飯屋 園 耕一	設備設計 一級建築士登録第 301497 号 高橋 徹	設備設計一級建築士登録第 号 DATE TITLE 坂東消防署庁舎建設工事 SUBTITLE 給油施設 外構詳細図 (排水側溝・油水分離槽・舗装・基礎) SCALE A1: S=1/50 A3: A1×1/2 DRAWN NO. 設計図 意匠 DA-004																				

油設備機器表			特記なき限り本工事	
NO	名 称	使用箇所	式・仕様・型・寸法・その他	数量
	計量機	給油施設内	《型式》 MAA22223型 ダブル型 P O S プリセット付 計量精度 ±5/1000(検定公差内) 表示 計量表示：6桁0.01～9999.99L 積算計 電子式10桁 電磁式 7桁 カウンター マイコン式電子カウンター 寸法 幅914mm高さ1490mm奥行き640mm質量約180Kg 【同等品】	1 台
	地下タンク	給油施設内	SF二重殻タンク バンド、バンド用ゴムマット、アンカーボルト、注入管ドロップパイプ付き 内径（ I D ）：1 , 4 4 0 全長（ L ）：6 , 7 1 0 mm 容量：1 0 , 0 0 0 L タンク本体重量：4 , 0 0 0 kg その他付属品：重耐用マンホール、重耐用マンホール用プロテクター 【同等品】	1 基
	油面計	事務所内 給油所内	システム型式 G O M - 9 8 0 E C 型 【同等品】 屋内表示計（壁掛型） 型式 E R - 1 2 4 0 - A 0 2 電源：A C 1 0 0 V ± 1 0 % (5 0 / 6 0 H z) 電磁油面計レベルセンサー 型式 E K - 1 1 9 0 5 0 A フロート式 水検知機能付き 漏洩センサー 型式 E K - 1 0 4 0 - A S F 二重殻タンク用 点検ワイヤ付き 分電盤内 接続ボックス《型式》E C - 1 2 0 1 - A 【同等品】 電源：A C 1 0 0 V ± 1 0 % (5 0 / 6 0 H z) 屋外表示計 型式 E R - 1 0 8 1 - A 【同等品】 接続ボックス 電源：A C 1 0 0 V ± 1 0 % (5 0 / 6 0 H z) 防雪カバー付き	1 台
	車両管理簡易 P O S	給油施設内	《型式》 ジムボーイ（ A P - 1 0 型 ） 【同等品】 電源：A C 1 0 0 V ± 1 0 % (5 0 / 6 0 H z) 防雨雪用フード付き カード登録数：5 0 , 0 0 0 件 カード数：4 0 枚 本工事に含む ディスプレイ：カラー液晶（ L E D バックライト ）、アナログタッチパネル仕様 カードリーダー：ハンズキャン方式（磁気カード） プリンター：ラインサーマルドット方式	1 台
	油配管	給油施設内	地下埋設用フレキシブル樹脂配管 呼び径：5 0 A 、 1 0 0 A 定尺：5 m 【同等品】	
	P C 油水分離槽	給油施設内	6 0 0 型直列 4 槽式 【同等品】	1 基

消防設備・看板等		特記なき限り本工事	
消火器	第5種粉末消火器 10型 3.5k g 3本 （参考型番：M E A 1 0 D ） 消火器格納箱 （参考型番：N B 3 ）		
危険物看板	4枚 [危険物給油取扱所] [火気厳禁] [給油中エンジン停止] [取扱数量等の表示]		



一級建築士事務所 東京都登録第4539号

株式会社 楠山設計

東京都千代田区神田小川町三丁目2番地

意匠設計

一級建築士登録第 301497 号

高橋 徹

構造設計

構造設計一級建築士登録第 6676 号

飯屋園 耕一

一級建築士登録第 271669 号

飯屋園 耕一

設備設計

設備設計一級建築士登録第 号

高橋 徹

一級建築士登録第 301497 号

高橋 徹

DATE

TITLE
坂東消防署庁舎建設工事

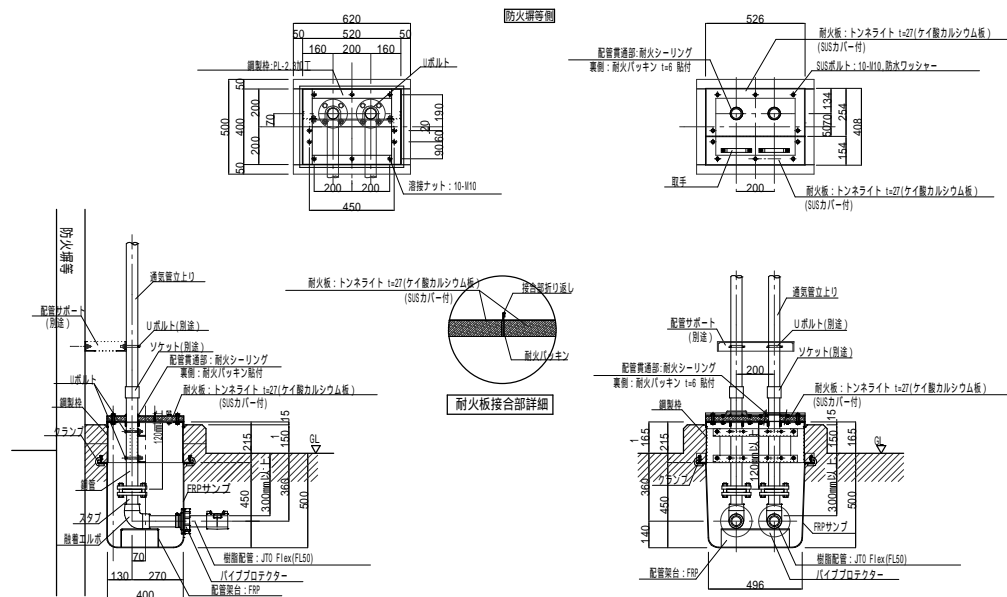
SUBTITLE
給油施設 油設備機器表・概要図

SCALE
A1: S=1/40,50
A3: A1×1/2

DRAWN NO.
設計図 意匠 DA - 005

通気耐火板ボックス参考図

耐火板の種類と必要な厚さ		
耐火板の種類	規 格	必要な厚さ
けい酸カルシウム板	JIA A 5430「繊維強化セメント板」 表1「0.5 けい酸カルシウム板」	25mm以上
せっこうボード	JIA A 6901「せっこうボード製品」 表1「せっこうボード」	34mm以上
A L C 板	JIA A 5416「軽量気泡コンクリートパネル」	30mm以上

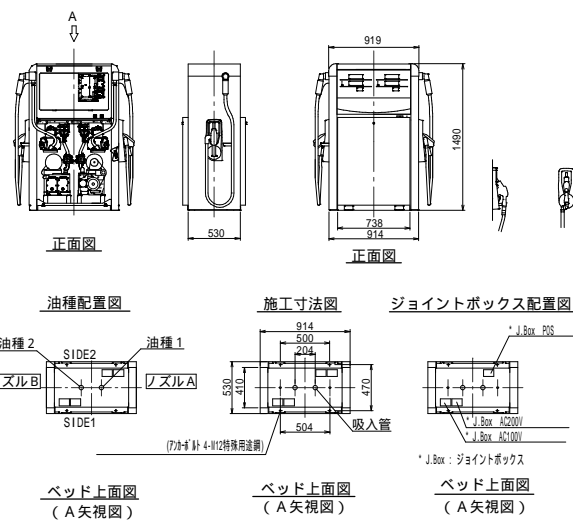


注) 印寸法：樹脂配管は土間天端から配管上端まで最低300mm以上確保すること。
1印寸法は 印寸法により決定。

耐火板接続ボックス (通気用 2 c h)

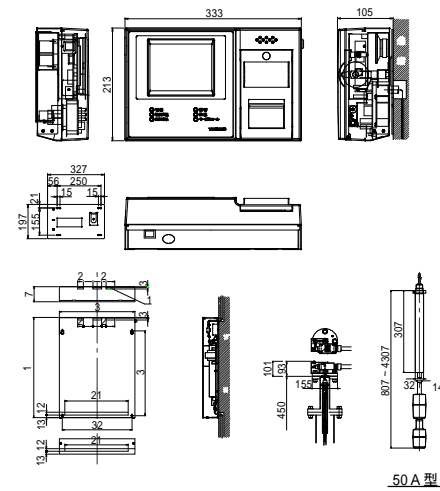
計量機参考図

計量機		ノズル	
		A 油種 1	B 油種 2
型式	M A A 22223	標準	高速
名称	TATSUNO製 サニー-X (サイドノズル、3 mホース、電磁付付き)		



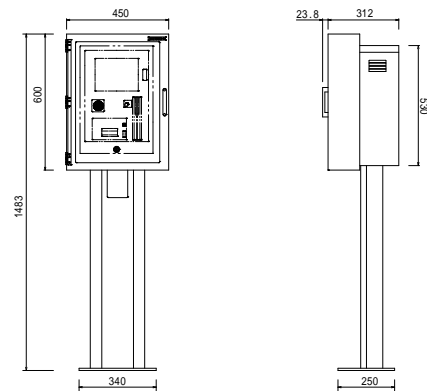
油面計参考図

油 面 計	
名 称	TATSUNO製 GOM-980EC-C (表示計、接続BOX、レベルセンサー、漏洩検知器)
型 式	ER-1240ほか



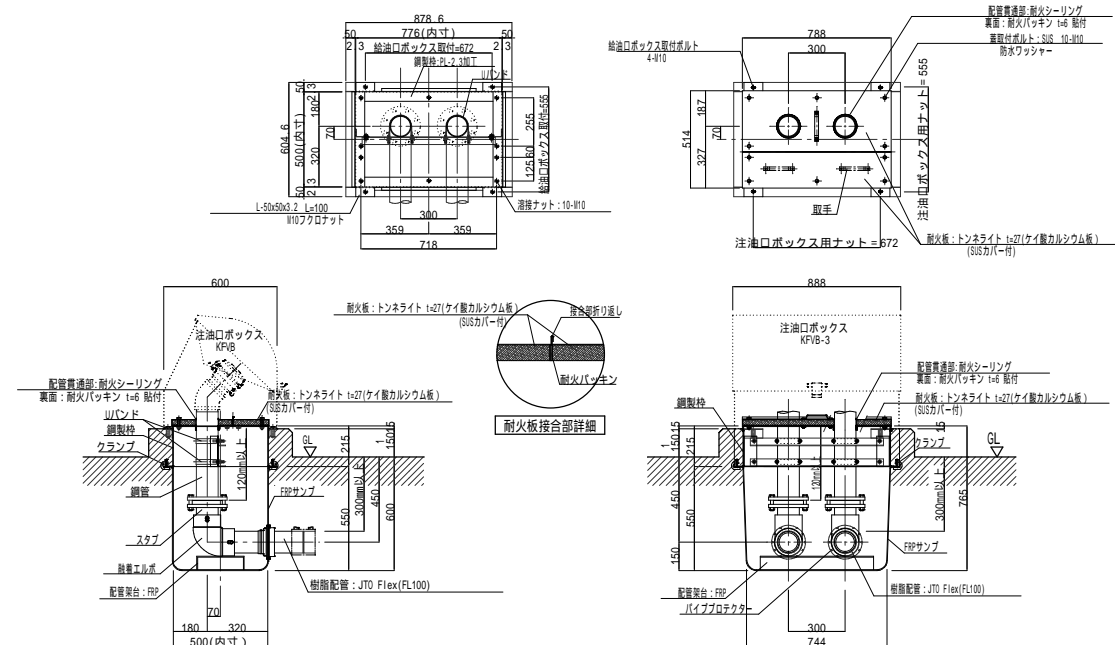
給油管理端末参考図

給油管理端末	
名 称	TATSUNO製 ジムボ－イ A P - 1 0
	(防水フード付き)
型 式	N T - 1 0 9 6



注油口耐火板ボックス参考図

耐火板の種類と必要な厚さ		
耐火板の種類	規 格	必要な厚さ
けい酸カルシウム板	JIA A 5430「繊維強化セメント板」 表1「0.5 けい酸カルシウム板」	25mm以上
せっこうボード	JIA A 6901「せっこうボード製品」 表1「せっこうボード」	34mm以上
A L C 板	JIA A 5416「軽量気泡コンクリートパネル」	30mm以上

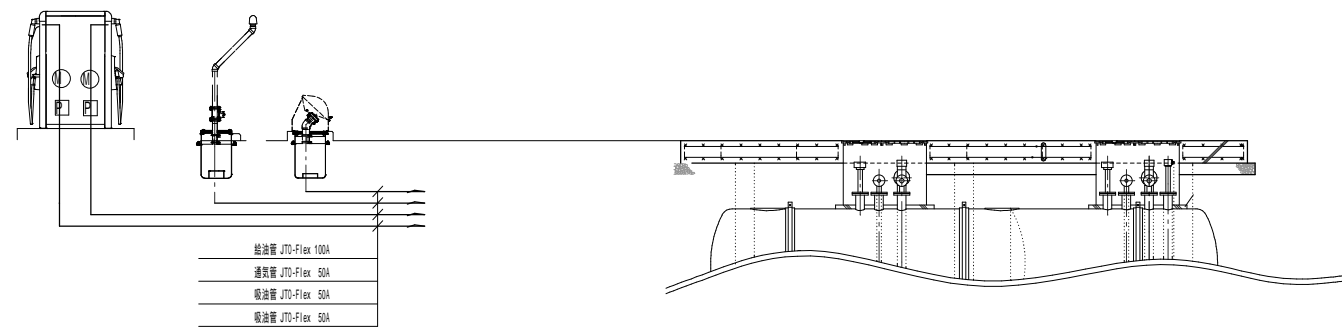


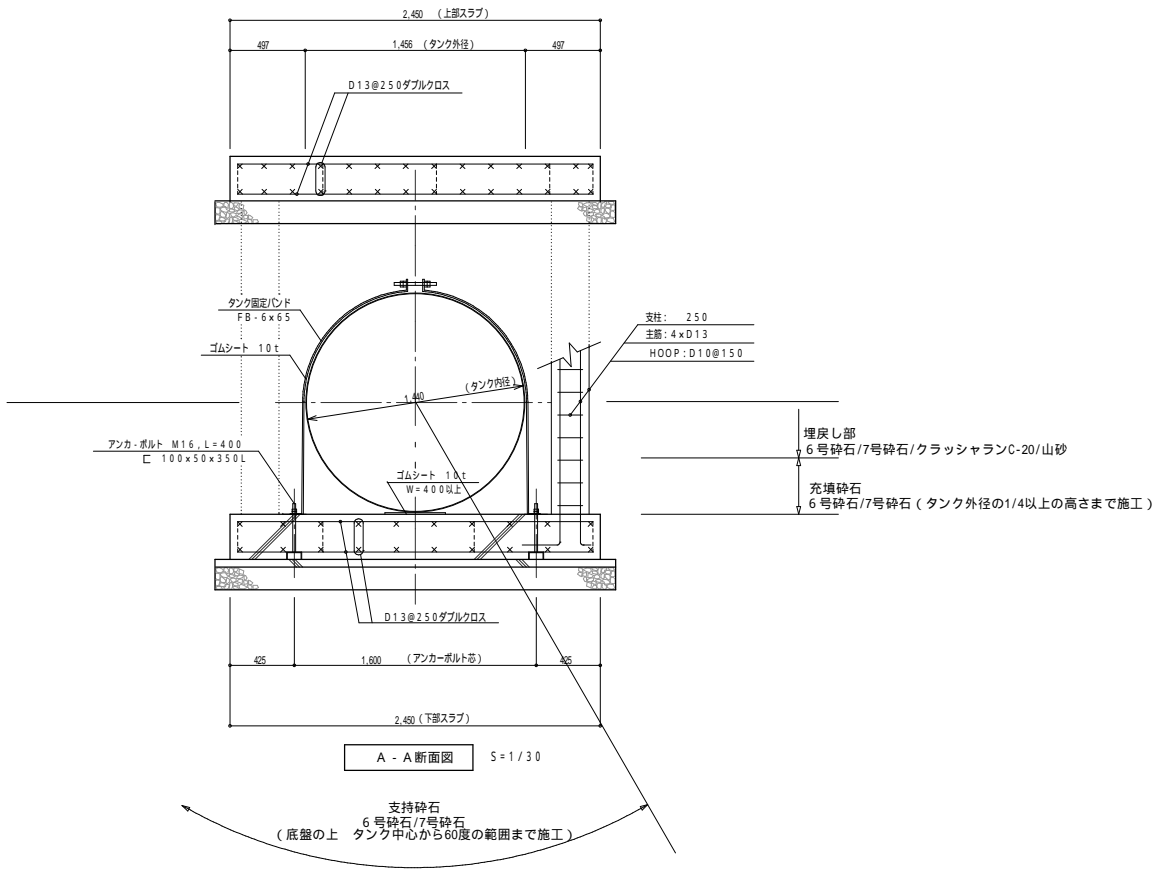
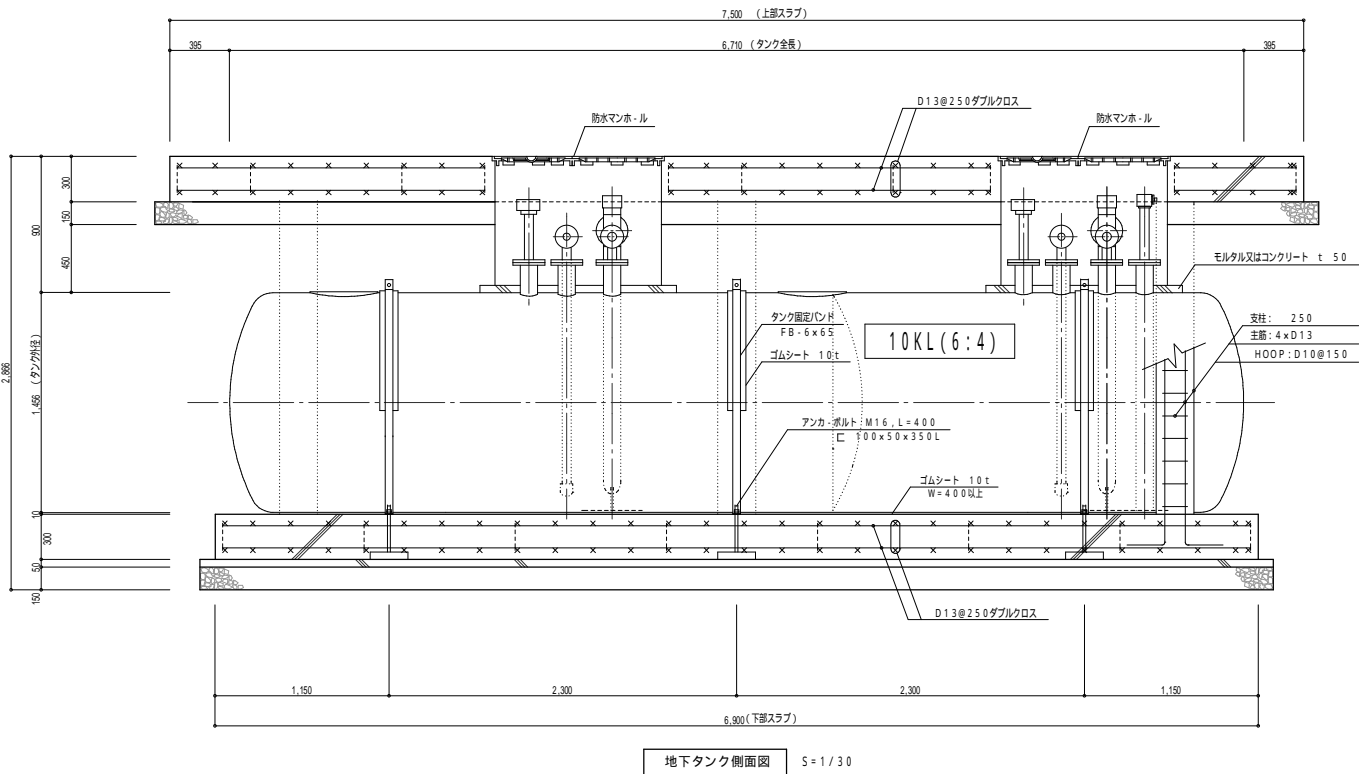
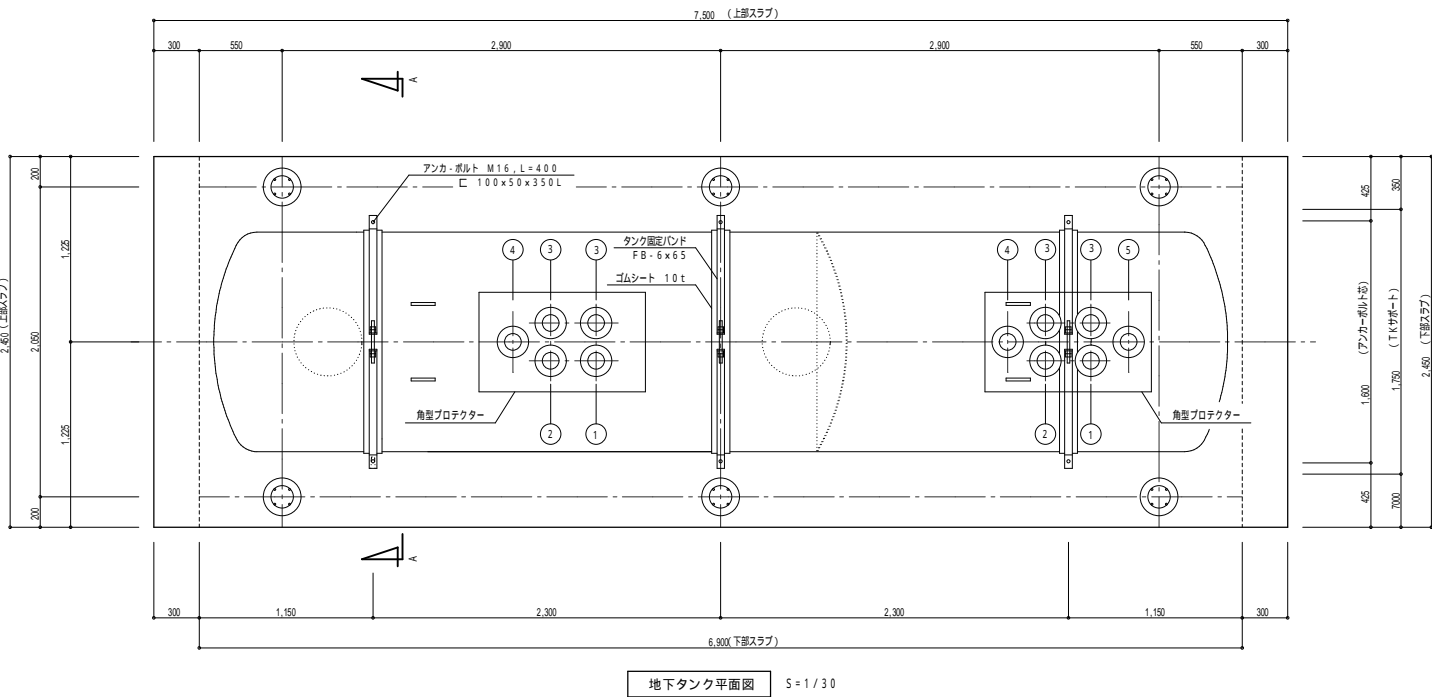
注) 印寸法: 樹脂配管は土間天端から配管上端まで最低300mm以上確保すること。
1印寸法は 印寸法により決定。

耐火板接続ボックス (注油口 2 c h)

給油設備配管参考図

給油口ボックス	TATSUNO製 K F V B - 3
同上 耐火板ボックス	TATSUNO製 T U F - 1 0 0 5 & 0 2
通気 耐火板ボックス	TATSUNO製 T U A - 0 5 0 6 & 0 2

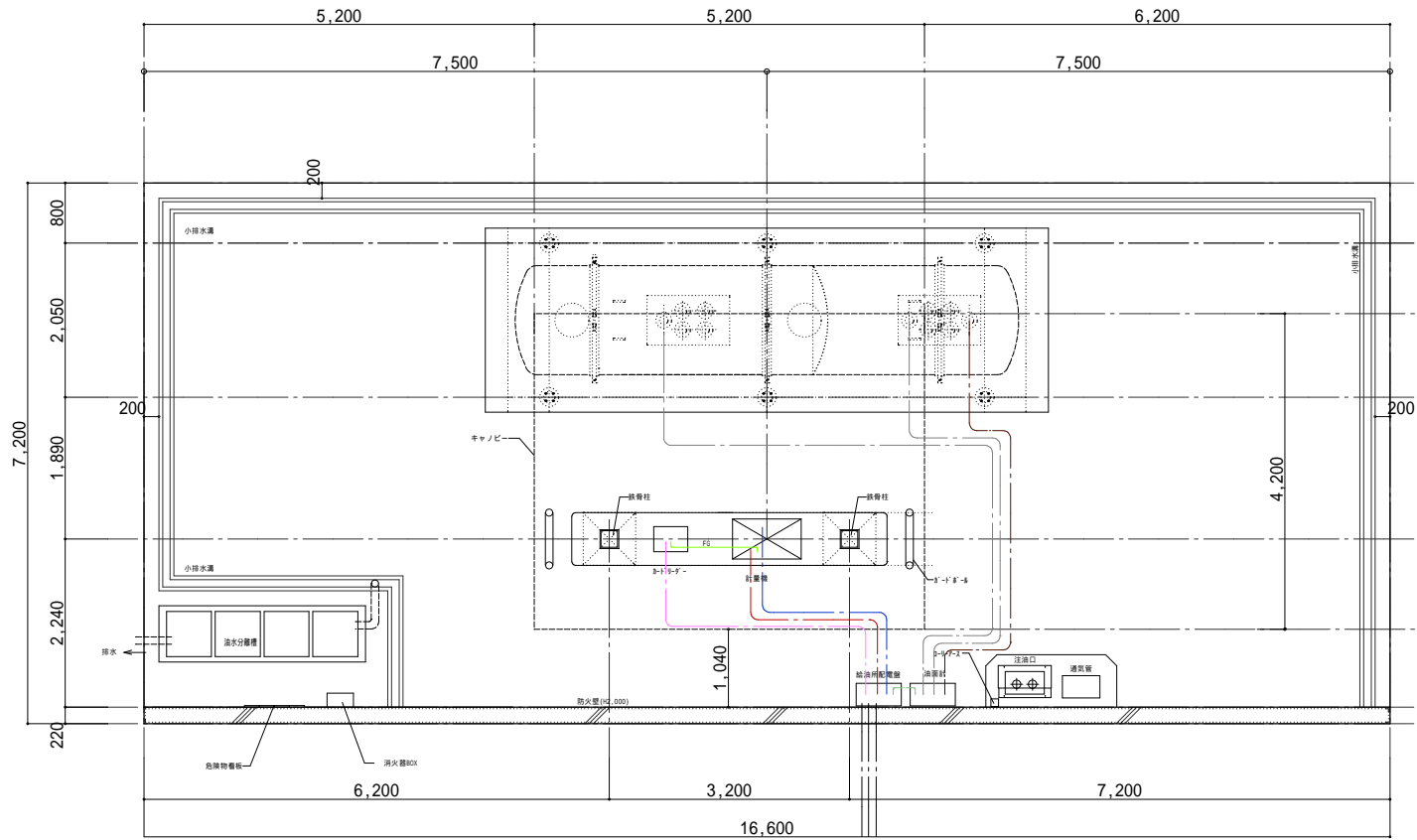
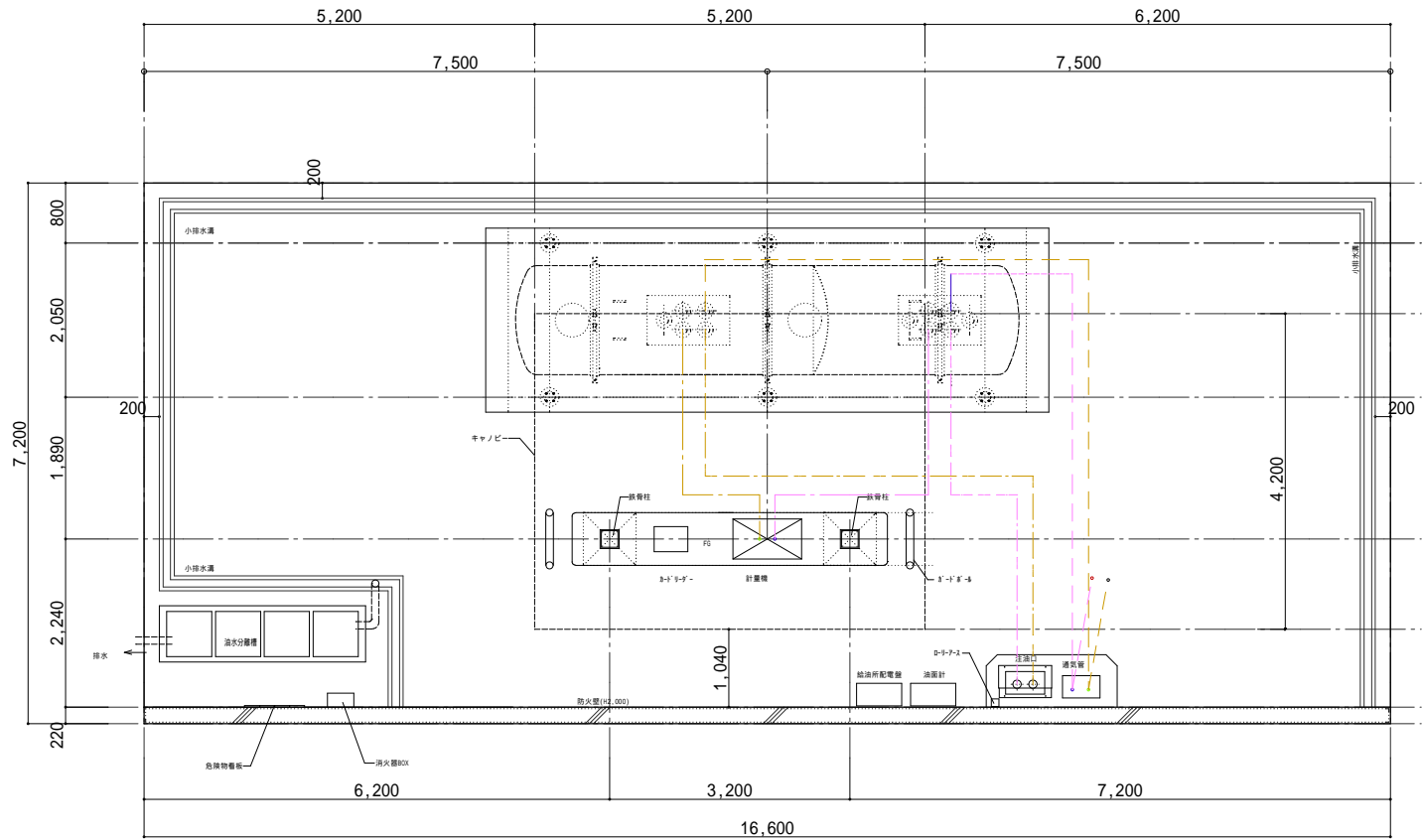




仕 様	
上部スラブ配筋	タテ・ヨコ共 D13@250 ダブル
基礎ベース配筋	タテ・ヨコ共 D13@250 ダブル
バ ンド	F B・6x6 5、全ネジボルト：M16 (3組)、緩衝材ゴム板：厚10
アンカーボルト	M16 L=400(ダブルナット)、ボルト受：[-100x50 L=350
支 柱	内径 250 鋼製スパイラル管又はボイド管 柱主筋 4-D16、Hoop D10@150
砕石床	
砕石床ゴム板	ゴム板(厚)10mm、W=400mm以上、L=タンク胴長以上(推奨値=6,800mm)
支持砕石	6号砕石/7号砕石 (タンク中心から60度の範囲まで施工) 推奨材料：6号砕石 1
充填砕石	6号砕石/7号砕石 (タンク外径の1/4以上の高さまで施工) 推奨材料：6号砕石 2
埋戻し部	6号砕石/7号砕石/クラッシャーランC-20/山砂 推奨材料：6号砕石

No.	名 称	管 径	備 考
①	注 油 口	100A	チース横引、閉止フランジ止
②	吸 油 口	100A	チース横引、ドロップパイプ:50A、除水器付
③	通 気 口	100A	チース横引、閉止フランジ止
④	油 面 計	100A	
⑤	検 知 管	100A	検知装置取付

- 支持砕石はタンクを据付後直ちに固定バンドを緊結した場合は省略できるものとする。
 - 充填砕石はタンク外径の1/4以上の高さまで、掘削坑全面に充填のこと。
地下水位が高い場合は、出来るだけ地下水位まで充填砕石にて施工のこと。
 - 埋設深さ及び掘削深さは、貯蔵燃料の揚程・配管勾配・ Samp 納まり等を考慮し、総合的な判断のうえ決定すること。
- その他、施工に関しては平成 8 年 1 0 月 1 8 日付消防危第 1 2 7 号通知、平成 1 2 年 3 月 3 0 日付消防危第 3 8 号、及び平成 1 7 年 1 0 月 2 7 日消防危第 2 4 6 号の改正によること。



建物へ：200V動力（配管・配線別途）
建物へ：100V電源（配管・配線別途）
建物へ：油面計接続BOX～屋内表示計（配管・配線別途）EM-MEES-0.5sq-3C（PF22）
（建物内屋内表示計100V電源必要 配管・配線別途）

計量機電源 EM-CE-3.5sq-3 c（PF22）

ジムボーイ電源 EM-CE-3.5sq-3 c（PF22）

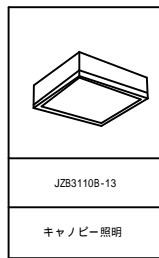
計量機動力 EM-CE-3.5sq-3 c（PF22）

油面計電源 EM-MEES-0.75sq-3C（PF22）

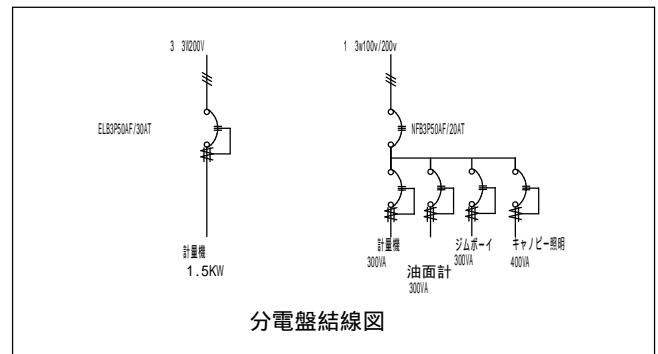
油面計信号線 EM-MEES-0.75sq-3C（PF22）

漏洩検知信号線 EM-MEES-0.75sq-2C（PF22）

ジムボーイ信号線 EM-MEES-0.5sq-3C（PF22）



キャノピー照明



配管凡例				
記号	名称	管径	油種	材質
	注油管	100A	レギュラー	樹脂配管（JTOflex）
	注油管	100A	軽油	樹脂配管（JTOflex）
	通気管	50A	レギュラー	樹脂配管（JTOflex）
	通気管	50A	軽油	樹脂配管（JTOflex）
	吸油管	50A	レギュラー	樹脂配管（JTOflex）
	吸油管	50A	軽油	樹脂配管（JTOflex）

